

倶知安町のまちづくり体系図

まちづくりの基本姿勢 (倶知安町民憲章)	自然をいかし、環境をととのえ、美しい町をつくりましょう 仕事を工夫し、力をあわせ豊かな町をつくりましょう 郷土を愛し、教養をたかめ、文化の町をつくりましょう きまりを守り、親切に助けあい、明るい町をつくりましょう 未来に希望をもち、若さにあふれた、伸びゆく町をつくりましょう
目指すまちの姿 (将来像)	いつまでも住み続けたい町“くっちゃん”

まちづくりの基本目標 1	くっちゃんですらす幸せを感じる
	個別目標① 安心して子育て子育てができるまちにする
	個別目標② 誰もが長く働き続けるまちにする
	個別目標③ 健康で笑顔があふれるまちにする
	個別目標④ 帰ってきたくなる故郷（まち）にする
	個別目標⑤ 住みたくなる都市（まち）にする
	個別目標⑥ 新幹線と高速道路によって人と地域がつながるまちにする

まちづくりの基本目標 2	くっちゃんですれちあう幸せを感じる
	個別目標⑦ 交流エリアとしての質を高める
	個別目標⑧ 交流タウンとしての魅力を高める
	個別目標⑨ 交流タウンとして多文化共生を実現する

予算編成の大綱

本町では、歳入の柱となる町税において、固定資産税で、土地、家屋のいずれにおいても堅調な伸びを見せており、2 億 6,578 万 5 千円の増額を見込んでいます。町民税では、法人分で 2,381 万 7 千円の増、宿泊税では、6 千万円の増を見込むなど、町税全体では、対前年度比 3 億 7,179 万 1 千円増の 48 億 5,899 万 3 千円を計上しました。

また、地方交付税は、町税の増額に伴い、普通交付税で 5 千万円の減を、特別交付税は 2 千万円の増加を見込み、総額で 16 億 1 千万円を計上しました。

地方債は、街路灯照明 LED 化事業、上水道安全対策等事業負担金、道路改良事業などに充てるものとして、対前年比で 5 億 4,350 万円増の 21 億 7,900 万円としました。

その他の各歳入は、前年度の実績などを勘案しつつ、慎重に推計し、過大積算とならないよう予算計上しましたが、財政健全化基金から 4 億

6 千万円を費消して財源不足を補うこととしました。

歳出では、南 6 条団地 1 号棟建設工事、北海道新幹線建設費負担金、倶知安町プール絵本館複合拠点施設建設工事、公共施設の修繕事業などの投資的事業が増加しました。

その他、過去の実績も十分に見極め積算しましたが、物件費や施設管理費などの経常経費については、労務単価の上昇により委託料が増加しており、また、公債費では、金利上昇に伴う償還利子の増、過去の大型事業実施に係る元金の償還開始など、前年度よりも予算額が増加しています。

このような状況ではありますが、最少の経費で最大の効果を求める視点で、各事業の緊急性・重要性・優先度を判断し、歳出予算を組み上げた結果、一般会計で、前年度当初予算を 8 億 9,600 万円上回る総額 145 億 3,900 万円の予算規模となりました。

令和 7 年度各会計予算

会 計 区 分		当 初 予 算 額	前年度当初予算額	増 減 率
一 般 会 計		145 億 3, 900 万円	136 億 4, 300 万円	6. 6％
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	5 億 7, 824 万円	5 億 4, 019 万円	7. 0％
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2 億 875 万円	2 億 1, 007 万円	△ 0. 6％
	介 護 保 険 サ ー ビ ス 事 業	705 万円	804 万円	△ 12. 3％
	地 方 卸 売 市 場 事 業	1, 130 万円	764 万円	47. 9％
総 額		153 億 4, 434 万円	144 億 894 万円	6. 5％

下 水 道 事 業	収 益 的	収 入	7 億 4, 257 万円	6 億 3, 571 万円	16. 8％
		支 出	6 億 9, 518 万円	6 億 2, 559 万円	11. 1％
	資 本 的	収 入	6 億 3, 179 万円	5 億 3, 236 万円	18. 7％
		支 出	8 億 3, 115 万円	7 億 1, 782 万円	15. 8％

上 水 道 事 業	収 益 的	収 入	5 億 4, 379 万円	4 億 1, 351 万円	31. 5％
		支 出	4 億 7, 451 万円	3 億 7, 187 万円	27. 6％
	資 本 的	収 入	16 億 2, 269 万円	25 億 3, 414 万円	△ 36. 0％
		支 出	18 億 2, 046 万円	27 億 6, 727 万円	△ 34. 2％

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります



まちづくりの重要事業

子育て

地域の子ども・子育て子育て支援の充実



国のこども・子育て政策の抜本的な強化が進む中、本町においてもその動きをしっかりと捉えながら、将来を担う子どもたちの健やかな成長と子育てを支えるための環境を整えます。

働き続けながら安心して子どもを産み、無理なく子育てができる環境づくりのため、妊娠期から子育て期において切れ目のない支援、相談支援体制の充実、子どもの居場所づくりの推進などに向けて、引き続き産後ケアの充実、保育士などの人材確保、子ども医療費助成の拡充などのほか、本年度は新たに、「こども家庭センター」の設置、5歳児健診、こども誰でも通園制度を実施します。

また、町営プール絵本館複合拠点施設の着工では、教育委員会と連携して進めていきます。

子ども施策推進の柱と位置付ける「くっちゃん子をみんなで育てる条例」の早期制定を目指すとともに、国のこども大綱や道のこども計画を勘案し、本町における子ども施策を総合的かつ計画的に推進するため「俱知安町こども計画」を策定します。

子育て	こども家庭センター設置事業	6 ページ
	5歳児健診	6 ページ
	こども誰でも通園制度	6 ページ
	俱知安町こども計画策定業務	6 ページ
	子育て支援事業	6 ページ
	保育士人材確保一時金給付事業	6 ページ
	保育士等奨学金返還支援事業	6 ページ
	産後ケア事業	7 ページ
	町営プール絵本館複合拠点施設整備事業	10 ページ
	医療給付扶助	10 ページ



新幹線開業に向けた着実なまちづくり

新幹線

昨年5月、北海道新幹線の整備主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構より2030年度の札幌開業が困難であると報告がありました。

新たな開業年度については、国土交通省の有識者会議で検討が続いていることから、都市施設、駐車場や駅前広場といった駅周辺整備については、公表された開業年度を踏まえ、整備年度を改めて精査することとなります。

また、駅周辺のにぎわいづくりとして、「俱知安駅周辺街なみガイドライン」を活用した住民によるまちづくりの推進策の検討を進めていきます。

新幹線	北海道新幹線推進事業	17 ページ
	景観まちづくり推進事業	18 ページ



観光インフラ、観光人材の整備

観光

観光客の受入環境整備として、特にウインターシーズンの2次交通の需要が高まっていることを受け、人手不足の中でも循環バスなどの運行の安定化を図るべく、DMO（俱知安観光協会）による各種バス運行体制強化の取組を支えるとともに、タクシーの「ニセコモデル」の継続と利便性の向上を図ります。

ニセコひらふ地区では、上水道新中区配水池整備を皮切りに、インフラの再整備が始まります。ひらふスキー場第2駐車場への配水池建設に伴い冬期の駐車場不足が懸念されるため、ひらふ中央公園内に駐車スペースを設置する設計に着手します。

本町の観光の旗振り役である地域DMOの活動は、「KutchanID+」や循環バス交通網の拡大など、国内でも先進的なものとなっており、社会環境の変化とともに重点的な対応が必要となる観光の地域理解促進や交通などの分野の活動を発展させるため、組織体制強化と人材育成を引き続き進めます。

観光	山田地区水道拡張事業	16 ページ
	ニセコ観光圏協議会負担金（ニセコモデル分）	17 ページ
	ニセコひらふ地区シンボル空間形成事業	18 ページ
	地域DMO支援事業	18 ページ
	ニセコエリア観光客受入体制整備事業	18 ページ
	ニセコ HANAZONO リゾート連絡交通補助事業	18 ページ

住宅

俱知安らしい魅力を備えた住生活



生活の基盤となる住環境を整備し、若い世代、子育て世代、高齢者世代の誰もが安心して生活できる質の高い住生活の推進のため、「住生活基本計画」の見直しを行います。

また、「俱知安町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の適切な維持管理に努めるとともに、前年度から進めている南6条団地の新1号棟新築工事は、本年度内に竣工する予定で、引き続き建築主体工事、そして電気・機械設備工事を進めるとともに、新2号棟の準備も順次進めます。

高齢者住宅の確保を目的とした地域優良賃貸住宅整備事業は、現在、事業者と整備に向けた具体的な協議を重ねており、供給計画が決まり次第、本年度中には建設着手となるよう進めます。

住宅	地域優良賃貸住宅整備事業補助金	13 ページ
	住生活基本計画見直し業務	15 ページ
	南6条団地建替検討事業	16 ページ

